

鶴城中学校音楽部の生徒たちが

歌声を届けに老人福祉センターへ ♪

～学校から地域へ～ (協働活動)

一年で最も寒さ厳しい時期を迎えています。そのような中、中学3年生は受験シーズン真っ只中です。それぞれが自己の進路実現が叶うことを切に願うばかりです。

昨年末に老人福祉センター長の澤田さんから、「子供たちの合唱はできないでしょうか？」と相談がありました。年が明けた先月の鶴城中読み聞かせの折に、池田校長先生にそのことを相談すると、「うちの音楽部でよければ構いませんよ。」と快諾をいただき、音楽部担当の浦本先生を紹介していただきました。

早速、福祉センターに連絡を取り、具体的に計画が動き始め、今月8日（木）に音楽部が福祉センターを訪ねて、約30人の利用者を前に歌声を届けました。

歌声を聞かれた方々からは、「上手な合唱を聞くことができ、とても嬉しかった。」「これから時々聞きたい。」等の感想をいただきました。一方で、歌声を届けた側の音楽部の生徒たちからは、「今日の発表日を楽しみに練習をしてきました。」「聞いてもらえることをとてもありがたく思います。」「また、歌声を届ける機会があるといいと思います。」等の言葉をもらうことができました。今回を出発点に今後も長く続く取組になればと思います。

今年度の地域学校協働活動方針の一つに、「学校から地域に向けて積極的な発信！」を掲げており、今回の発表はその具体的な取組の一つと捉えています。

また、鶴城中学校は、ボランティアによる読み聞かせの最終月に当たる今月、全学級でボランティアの方々へのお礼状のプレゼント、そして、ハートフルフェスタでは特別支援学級の生徒の太鼓演奏、バトン部の演技披露と、地域活動に貢献する機会がたくさんありました。

今後も地域活動への積極的な参画を期待します。



合唱を終えた生徒たちに、会場の方々から、「四季の歌メドレーに秋の歌があるとよかった。」「もっと表情豊かに。」等の厳しい返しの声もありましたが、「透き通ったきれいな声に癒されました。」「また聴きたい。」等の声が多数ありました。

生徒たちも今回の発表の機会を嬉しそうにしていました。そして、次の機会を心待ちにしているようでした。

ボランティア養成講座「読み聞かせ」 ありがとうございました

先月25日（木）に肥後っ子いきいき読書アドバイザーの吉川先生をお招きして開催しました。おかげさまで、日頃各学校で読み聞かせをされておられるボランティアの皆さん、そして小中学校の司書補の先生、合わせて21名の参加者にとって、とても有意義な研修の機会となりました。本講座でのアドバイスを今後の読み聞かせに生かしてほしいと思います。

地域学校協働活動は、学校と地域が協働・連携して双方向で取り組む活動です。